

7084 920-00

EFI / EFE / EFL

LIEBHERR

本操作手順書の内容

本操作手順書には、装置を操作・制御するために必要な重要な情報が含まれています。

本操作手順書には、以下のセクションが含まれます。

- 装置の説明
- 試運転
- 操作
- 装置の停止
- 誤動作/トラブルシューティング
- 除霜
- 清掃
- 技術データ
- 停止後の装置の保管
- 廃棄
- 適合宣言

本操作手順書を完全にお読みにになり、操作手順を完全にご理解いただいた上で、本装置をご使用ください。

本操作手順書の内容

警告

警告には、次の内容が含まれます。

 信号語!	危険の理由。 遵守しなかった場合の結果。
	▶ 危険を防止するための行動。

警告の優先度

警告は、以下に示すように、危険の種類により、異なる優先度が設けられています。

 危険!	防止しなかった場合、死亡または重傷につながる可能性がある急迫した危険状況を示します。
--	--

 警告!	防止しなかった場合、死亡または重傷につながる可能性がある危険な状況を示します。
--	---

 注意!	防止しなかった場合、軽傷または中程度の怪我につながる可能性ある、危険な状況を示します。
--	---

注意	防止しなかった場合、装置の損傷につながる可能性がある危険な状況を示します。
-----------	---------------------------------------

	危険な可燃物を示します。
---	--------------

ヒント、注、推奨事項

① 装置を効率的に使用するためのヒント、注、推奨事項を提供します。

その他の記号

操作に対する指示が表示される場合は、指示または手順を行ってください。手順を個別または表示される順に行ってください。

指示の内容:

➡ 操作に対する指示。

結果詳細 (必要な場合)。

その他の該当文書

装置を安全かつ正しく使用していることを確認するために、付属の追加文書 (引き渡し文書など) や関連する規格や法律も参照してください。

保管

付属の文書を含めて、操作手順書を装置の近くに保管してください。

用途

本装置は、既に冷凍されたアイスクリームや食品を保存するのに適しています。

本装置は、囲まれた室内で使用するよう設計されています。

その他の目的で使用しないでください。

予測される誤った用途

本装置を次の用途に使用しないでください。

- 医薬品、血漿、実験用製剤、類似の物質、医療機器指令 2007/47/EC に該当する製品を保存すること。
- 潜在的な爆発性雰囲気内で使用すること。
- 水がはねかかる場所、湿気の高い場所、直射日光に曝される場所。

装置を誤って使用すると、装置が損傷したり、装置内に保存された商品が損なわれたりする可能性があります。

安全に関する指示事項

利用者に対する危険

- ➡ 装置の近くに、操作手順書を保管してください。
- ➡ 装置の引き継ぎの際には、操作手順書も併せてお渡しください。
- ➡ 怪我または装置の損傷を防止するため、本装置は、2人で設置してください。
- ➡ 開梱後、装置の損傷を確認してください。
- ➡ 損傷している場合は、サプライヤーに連絡してください。装置を主電源に接続しないでください。
- ➡ 冷たい表面 (冷蔵/冷凍した商品) に皮膚が長時間接触しないようにしてください。必要に応じて、安全対策 (手袋などの着用) を行ってください。
- ➡ 本装置を潜在的な爆発性雰囲気内で使用しないでください。
- ➡ 装置の中に裸火または他の発火源を入れないでください。
- ➡ 装置を除霜するために、電気ヒーター、蒸気クリーナー、裸火、除霜スプレーを使用しないでください。
- ➡ 鋭利なものを使って、氷を取り除こうとしないでください。
- ➡ **警告:** 冷蔵庫の回路を損傷しないようにしてください。
- ➡ 冷却回路が損傷した場合は、部屋を十分に換気し、装置から発火源を隔離してください。
- ➡ アイスクリーム、特にアイスキャンディー、アイスキューブを装置から取り出した直後に食べないようにしてください。非常に低温であるため、「凍傷」の危険があります。
- ➡ **警告:** 装置には可燃物が含まれます。適切な取り扱い、点検、廃棄を心がけてください。
- ➡ **警告:** 除霜プロセスを加速するために、メーカーが推奨する以外の機械的装置やその他の手段を使用しないでください。



可燃性冷却剤の誤った取り扱い

- ➡ 冷却剤回路のパイプが損傷していないことを確認してください。
- ➡ 装置の中に裸火または発火源を入れないでください。
- ➡ 装置の中で電気装置 (アイスクリームメーカーなど) を使用しないでください。

冷却剤が漏れた場合:

- ➡ 漏れた領域に裸火および発火源を近づけないようにしてください。
- ➡ 部屋を十分に換気してください。
- ➡ カスタマーサービス部門に通知してください。

誤った設置および修理作業

- ➡ 装置に対する修理およびその他の作業は、電源プラグを完全に切断した状態で行ってください。
- ➡ 装置に対する修理およびその他の作業は、カスタマーサービス担当者または他の訓練を受けた担当者のみが行うことができます。
- ➡ **警告:** 電源コードが損傷した場合は、危険を避けるため、メーカー、サービス代理店、類似の資格を持った担当者が交換する必要があります。
- ➡ 装置の設置、接続、廃棄のみ、本操作手順書に記載される通りに行ってください。

意図されない使用方法

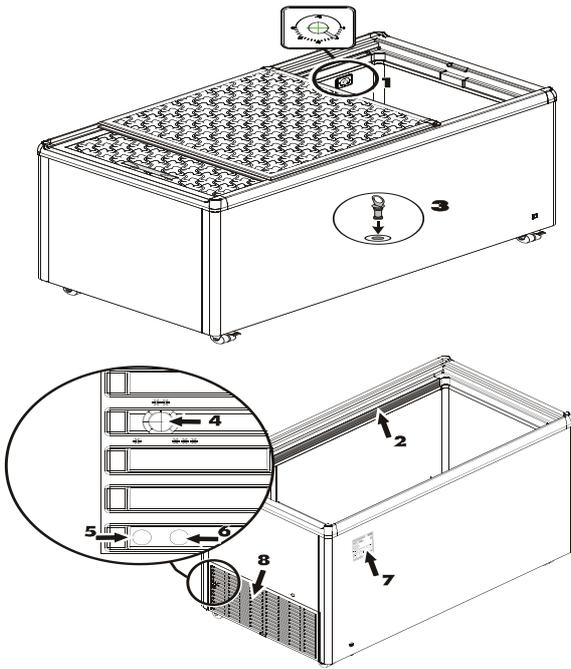
- ➡ **警告:** 装置のエンクロージャーまたはビルトイン用構造のすべての換気用開口部の障害物を取り除いてください。
- ➡ コンセントから装置を切断するときは、ケーブルではなく、プラグを引っ張ってください。
- ➡ 障害が発生した場合は、プラグを抜くか、ヒューズを遮断してください。
- ➡ 長期間保存した食品は使用しないでください。長期間保存した食品を適切に廃棄してください。
- ➡ **警告:** 本装置の中に可燃性高圧ガスを含むエアゾール缶などの爆発性物質を保存しないでください。
- ➡ 装置の中に保存する前に、スプレー缶に可燃性高圧ガスが含まれていないことを確認してください。可燃性高圧ガスは、成分に記載されているか、容易器印刷された可燃性記号により示されます。
- ➡ 部屋を明るくする目的で内部 LED ライトを使用しないでください。内部 LED ライトは、装置の内部の照明として設計されています。
- ➡ **警告:** 電気装置がメーカーにより推奨されるタイプのものではない限り、装置の食品保存室内部で使用しないでください。
- ➡ ロック式装置を使用している場合は、装置の近くまたはお客様の手の届く範囲に鍵を保管しないようにしてください。



可燃性物質の誤った保存

- ➡ 装置の中に爆発性物質または可燃性高圧ガス (プロパン、ブタン、ペンタンなど) を含むスプレー缶を保存しないでください。ガスが漏れ、電気コンポーネントにより発火する危険があります。
- ➡ 装置の中に保存する前に、スプレー缶に可燃性高圧ガスが含まれていないことを確認してください。可燃性高圧ガスは、成分に記載されているか、容易器印刷された可燃性記号により示されます。
- ➡ アルコール飲料またはアルコールを含む容器を保存する場合は、しっかりと密封してください。

装置の説明



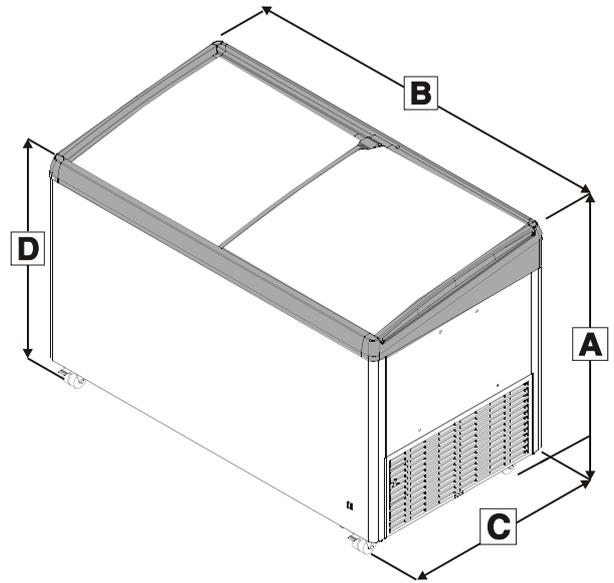
1. 温度表示
2. 内部ライト (モデルおよびオプションにより異なります)
3. 除霜水の排水
4. 温度制御
5. 内部ライトオンスイッチ_(オプション)
6. 内部ライトオフスイッチ_(オプション)
7. タイプ/データプレート
8. コンプレッサーコンパートメント換気グリル

装置の寸法

モデル	A	B	C	D
EFE 1102/1152	825	751	461	-
EFE 1502/1552	825	625	660	-
EFE 1500	825	625	660	-
EFE 2200	825	835	660	-
EFE 2202/2252	825	835	660	-
EFE 3002/3052	825	1045	660	-
EFE 3000	825	1045	660	-
EFE 3802/3852	825	1255	660	-
EFE 3800	825	1255	660	-
EFE 4600	825	1465	660	-
EFE 4602/4652	825	1465	660	-
EFE 5100	825	1675	660	-
EFE 5102/5152	825	1675	660	-
EFE 6002/6052	825	1885	660	-
EFI 1403/1453	825	625	660	751
EFI 2103/2153	825	835	660	751
EFI 2803/2853	825	1045	660	751
EFI 3503/3553	825	1255	660	751
EFI 4403/4453	825	1465	660	751
EFI 4803/4853	825	1681	660	751
EFI 5603/5653	825	1885	660	751

装置の寸法

モデル	A	B	C	D
EFL 1505	825	625	660	-
EFL 3005	825	1045	660	-
EFL 3805	825	1255	660	-
EFL 4605	825	1465	660	-
EFL 6005	825	1885	660	-



付属品

① 装置を未承認のアクセスから保護するため、シリンダーロックが利用可能です。

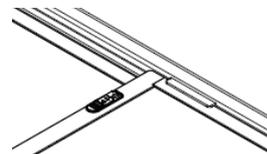
シリンダーロックを取り付けるには: EFE/EFI

➡ ロック穴 付きバージョンの場合: シリンダーロックの開口部が見えるようになるまで、ロック穴カバーをスライドさせます。

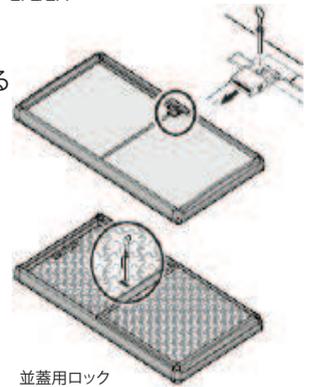
➡ その開口部にシリンダーロックを挿入します。

➡ 鍵を回します。

➡ 鍵を取り外します。



EFE 1102/1152

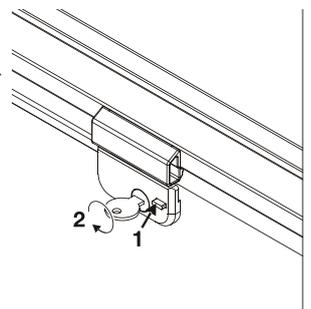


EFLのロック

ロックは安全メカニズムとして装備されます。

装置をロックする:

1. ボタンを押したままの状態をキープします。
2. 鍵を 90 度回します。



バスケット

バスケットは付属品として利用可能です。



注意	過度な荷重! 装置が損傷します。
-----------	----------------------------

モデル	バスケット	最大荷重
EFE 11	195 mm	12 kg
EFE	210 mm	28 kg
	270 mm	31 kg
EFI	210 mm	28 kg
	270 mm	25 kg
EFL	210 mm	47 kg
	270 mm	54 kg

試運転

開梱

危険!	梱包材料およびフィルム。 窒息の危険があります。
	▶ お子様が梱包材料で遊ばないようにしてください。

- ➡ 梱包を公共の収集ポイントに持ち込んでください。
- ➡ 初めて電源を入れる前に装置の内部を清掃してください。「清掃」を参照してください。

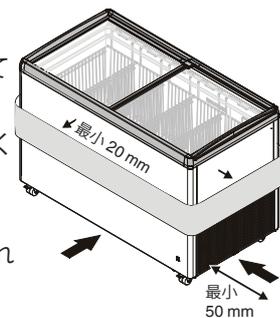
装置の設置

危険!	冷却剤の容量が設置する空間容積に対して不釣り合い。 爆発の危険があります。
	▶ 装置の設置スペースが、EN 378 規格に拠り、装置で使用される R600a/R290 冷却剤 8 g に対して、1 m ³ の容積を有していることを確認してください。

設置場所の要件:

- ➡ 設置スペースの容積が装置の冷却剤の容量に対して十分な大きさであることを確認してください。
- ① 冷却剤の容量はタイププレートに記載されています。
 - 直射日光に晒さないようにしてください。
 - ストープまたはヒーターなどの熱源に近くに置かないでください。
 - 床が水平で平らであることを確認してください。

- ① チェストの縁と床の間の換気用隙間は、冷却装置に冷却用空気を供給するために使用されます。
- ➡ チェストの下側と床の間の換気用隙間が、塞がれていないことを確認してください。
- ➡ 換気グリルと壁の間の距離が、少なくとも 50 mm あることを確認してください。
- ➡ 換気グリルと壁の間の領域が、塞がれていないことを確認してください。
- ➡ 換気グリルに埃や異物が付着していないことを確認してください。

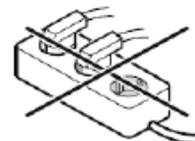


- ① 装置は外面スキン層を通して空気を放散します。
- ➡ 装置の外面スキン層の横に物を置かないでください。
- ➡ 装置の外面スキン層と隣接する物の間の距離が、少なくとも 20 mm あることを確認してください。

電気接続

危険!	誤った電圧供給。 装置の破損または怪我の危険があります。
	▶ 電圧供給が「技術データ」のセクションに記載される仕様に準拠していることを確認してください。

- ➡ プラグが装置により覆われておらず、容易に使用可能な状態であることを確認してください。
- ➡ 動作時の電源 (AC) および電圧が、タイププレート上の情報に準拠するようにしてください。タイププレートは、装置の背面に取り付けられています。
- ➡ 適切な規制に従って接地され、ヒューズにより保護されたコンセントに装置を接続してください。
- ➡ コンセントに 10 A 以上のヒューズを取り付けてください。コンセントを装置の背面から離し、容易にアクセスできるようにしてください。
- ➡ 延長ケーブルまたは延長コンセントを使用して、装置を接続しないでください。



適切に接地されたプラグおよびコンセントのみを使用して、装置を接続してください。

装置の電源を投入/切断する

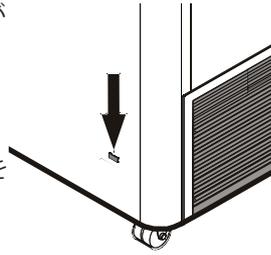
最初に電源を入れる前に、まず装置を清掃してください（「清掃」を参照）。

装置の電源を入れるには:

装置を電源に接続すると、装置の電源が入ります。

緑色のオンランプ (矢印) が点灯します。
(実行されるオプション機能)

必要な温度を設定します。「温度設定」を参照してください。



装置の電源を切るには:

電源プラグを取り外すか、ヒューズを取り外します。

操作

注意	<p>不適切な室温。 装置が損傷したり、冷却性能が低下したりします。</p> <p>▶ 室温が装置の天候定格に対応していることを確認してください（「技術データ」を参照）。</p>
-----------	--

操作

内部ライトのオン/オフを切り替える (実行されるオプション機能)

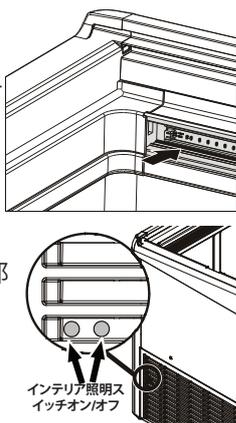
警告!	<p>高い光強度。 目に損傷がもたらされる危険があります。</p> <p>▶ ライトカバーを取り外さないでください。</p> <p>▶ 光学レンズを通して、光を見ないようにしてください。</p>
------------	--

① 内部 LED ライトの強度は、レーザークラス 1/1M に対応します。

① 内部ライトのスイッチは、コンプレッサーコンパートメント換気グリルの背面に取り付けられています。

② 左開口部を通してスイッチを押して、内部ライトをオンに切り替えます。

② 右開口部を通してスイッチを押して、内部ライトをオフに切り替えます。



インテリア照明スイッチオン/オフ

最大充填高さ

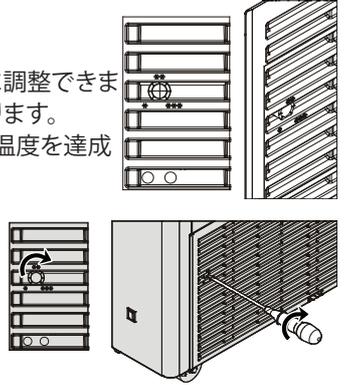
装置内部のスタッキングマークは、最大充填高さを示します。

② スタッキングマークを超えて、冷凍物品を装置に充填しないでください

温度設定

温度は制御ノブを使って無段階に調整できません。制御ノブの近くにマークがあります。3 (***) に設定すると、装置は最低温度を達成します。

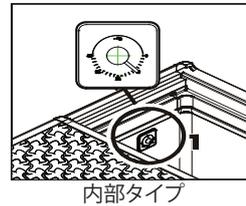
② 温度を設定するには、マイナスドライバーを使って、制御ノブを必要な設定 (* ~ ***) に回してください。



温度表示

温度計には、凍結した容積の最大充填高さにおける最も高い温度が表示されます。

0°C 未満の温度のみが正確に表示されるように調整・設計されています。

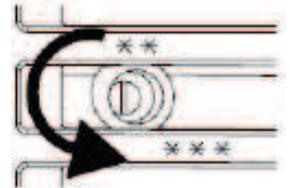


装置の停止

装置の電源を切る

② 電源プラグを取り外すか、温度制御ノブを [オフ] 位置にロックされるまで、反時計回りに回します。

① 温度制御ノブを使って電源を切った場合、装置は電源から切断されません。



装置を長期間停止する前に

② 装置を停止します。

② プラグを取り外すか、ヒューズを取り外します。

② 装置を清掃します。

② 装置の内部および外部が乾燥していることを確認します。

① 内部コンテナに水分を残さないようにしてください。

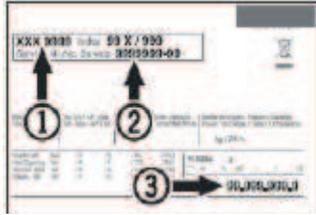
① 装置を長期間停止している間、チェストの蓋が開いたままである場合、内部に臭いが発生する可能性があります。

② チェストの蓋を開き、閉じないように固定してください。

② 保管用の周囲条件が、「停止後の装置の保管」のセクションに記載される仕様に準拠していることを確認してください。

誤動作/トラブルシューティング

- ① 装置が故障し、復旧できない場合は、最寄りのカスタマーサービス部門に連絡してください。
- ② 問い合わせ内容を迅速に処理するため、タイププレート上の型式指定1、サービス番号2、シリアル番号3をメモし、カスタマーサービス部門に連絡する際、その情報を提供してください。タイププレートの位置は、「装置の説明」のセクションに記載されています。



誤動作	考えられる原因	対策
装置が冷却されません。	温度制御ノブが [オフ] 位置にあります。	温度制御ノブを冷却位置に設定してください。
	電源プラグが切断されています。	装置を電源に接続してください。
	電源が中断されます。	電源装置を確認してください。 電源装置内のヒューズを確認してください。
温度が十分に下がりません。	温度設定に誤りがあります。	温度を正しく設定してください。
	温度表示に誤りがあります。	別な温度計を使って、温度を確認してください。
	換気が不十分です。	十分な換気があることを確認してください。
	装置が熱源の近くに設置されています。	熱源を取り除いてください。 設置に適した場所を選択してください。

除霜

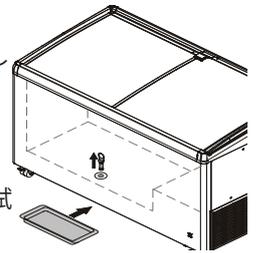
長期間動作した後、フリーザーコンパートメントの壁に霜または氷の層が形成される場合があります。

装置を頻繁に開閉すると、霜または氷の層はより早く形成されてしまいます。氷の層が厚くなると、消費電力が増加します。定期的にフリーザーの除霜を行なってください。

	注意!	高い光強度。 目に損傷がもたらされる危険があります。
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 電気ヒーター、蒸気クリーナー、裸火、除霜スプレーを使用しないでください。 ▶ 鋭利なものを使って、氷を取り除こうとしないでください。(内壁が損傷する危険があるため)

除霜

- ➡ 装置を停止します。
- ➡ プラグを取り外すか、ヒューズを取り外します。
- ➡ 冷凍物品を紙または毛布にくるんで、冷所に保管してください。
- ① 排出開口部がない場合は、装置内の除霜水をスポンジまたは布で拭き取ってください。
- ➡ 除霜水を溜めるために、排水開口部の下に適切な容器を置いてください。
- ➡ 排出開口部から除霜水プラグを取り外してください。
- ➡ 除霜中は蓋を開いたままにしてください。
- ➡ 除霜後は、布を使って、残りの除霜水を拭き取ってください。
- ➡ 装置を清掃してください (「清掃」を参照)。



清掃

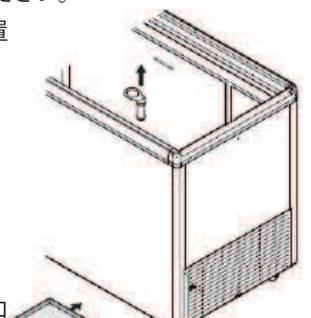
	危険!	<p>誤った方法で清掃すると、感電の危険があります。 死亡の危険。</p> <p>▶ 清掃作業を開始する前に、電源プラグを取り外してください。</p>
--	------------	---

	注意!	<p>高温蒸気。 怪我または装置が損傷する危険があります。</p> <p>▶ 蒸気/高圧清掃装置を使用しないでください。 電気ヒーター、蒸気クリーナー、裸火、除霜スプレーを使用しないでください。 鋭利なものを使って、氷を取り除こうとしないでください。(内壁が損傷する危険があるため)</p>
--	------------	--

注意	<p>不適切な洗剤。 装置が損傷する危険があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 濃縮洗剤は必ず希釈せずにしてから使用してください。 ▶ 柔らかい布および中性 pH 値の多目的クリーナーのみを使用してください。 ▶ 装置の内部には、食品互換の洗剤またはお手入れ製品のみを使用してください。
-----------	---

① 6 か月ごとに装置を清掃してください。

- ➡ すべての冷凍食品を取り出ししてください。
- ➡ 排水開口部の下に適切な容器を置いてください。
- ➡ 排出開口部から除霜水プラグを取り外してください。
- ➡ 清掃中に換気グリルまたは電気コンポーネントに水が流れ込まないようにしてください。
- ➡ 適切な布、微温の熱湯と多目的洗剤を混ぜたものを使用して、内部コンテナ、装置の外壁、部品を清掃してください。
- ➡ 適切な布を使って、装置を乾燥させてください。
- ① 内部コンテナに水分を残さないようにしてください。
- ① 換気グリルに埃が堆積すると、消費電力が増加します。
- ➡ 換気グリルから堆積した埃を取り除いてください。



技術データ

電圧供給

① 正しい電圧供給の正確な値は、タイププレートに記載されています。

仕様	値
電流の種類	交流
ヒューズトリップ電流	10 ~ 16 Aの間

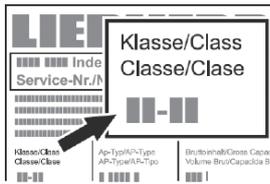
装置からのノイズ放射

装置の動作中のノイズレベルは 70 dB(A) 未満です (相対ノイズレベル 1 pW)。

天候定格

① 天候定格は、装置が最大冷却能力を達成し動作できる室温および外部ハウジング上に凝結が発生しない装置の周りの最大湿度レベルを表します。

① 天候定格はタイププレートに記載されています。



天候定格	最大室温	最大相対湿度
3	25 °C	60 %
4	30 °C	55 %
5	40 °C	40 %
7	35 °C	75 %

設置場所の最小温度は10 °C です。

停止後の装置の保管

注意	保管中の不安定な室温。 装置が損傷します。
	▶ 室温が-10 °C ~ +50 °C になるようにしてください。

➡ 装置の内部および外部が乾燥していることを確認します。

① 内部コンテナに湿気がないようにしてください。

➡ 室温が-10 °C ~ +50 °C になるようにしてください。

廃棄

注意	冷却剤および油が漏れる。 環境を害する危険があります。
	▶ 廃棄処理中に冷却剤回路を破損しないようにしてください。

① 装置には、リサイクル可能な可燃材料が含まれています。

➡ 装置を電源から切断してください。

➡ 装置を使用不可の状態にすべく、電源ケーブルを切断してください。

➡ 装置を無分類の家庭ごみを一緒に廃棄しないでください。

➡ 装置を現行の現地の規制および法律に従い、専門的かつ適切な方法で廃棄してください。

適合宣言

本装置は、関連する安全規制およびEU指令 2014/30/EU と 2006/42/EC に準拠しています。